

特定非営利活動法人

さがみはら市民会議 会報

2005年7月

トークサロン「介護保険法改正について」



当会のネットワーク委員会が主管する掲題のトークサロン（本年度第1回）が6月18日（土）14:00～17:00、相模原市民会館会議室で開催され、委員会が予想していたよりはるかに多い40人程の参加者がありました。

講師はさがみはら介護支援専門員の会の大島栄一さん（介護支援専門員、HOP合資会社）で、国会で介護保険制度の改正が審議されている最中の、ホットな話題のためか、普段あまりお会いすることのなかった市民の皆さんが大勢出席されました。

わが国が目指すべき高齢社会は、国民一人ひとりが生涯にわたり元気で生活できる「明るく活力ある社会」の構築であり、「健康な65歳」から「活動的な85歳」へ、本格的な「介護予防システムの構築」に取り組むことがその中心にあります。従って、予防重視型へと移行することになり、軽度の要支援者への筋力トレーニングなど居宅者への地域支援事業が創られていきます。

今回の改正の本質的な部分をわかりやすくお話いただき、質問もたくさん出て、意義のあるトークサロンとなりました。参加者多数のため、途中であわてて印刷物を増刷するなど、担当委員会の方々ありがとうございました。

今回の改正の本質的な部分をわかりやすくお話いただき、質問もたくさん出て、意義のあるトークサロンとなりました。参加者多数のため、途中であわてて印刷物を増刷するなど、担当委員会の方々ありがとうございました。

介護保険法は6月22日に参議院本会議で可決成立しました。本年10月から適用になります。介護保険施設入所者と自宅で暮らす者の公平性を考慮し、施設での居住費と食費は原則自己負担になります。

よろしく新委員長

総務渉外委員長 西 智巳

はじめまして、本年度さがみはら市民会議に入会いたしました、市内陽光台在住の西智巳（にしともみ）と申します。



私は、2001年度より（社）相模原青年会議所で活動させていただいております。青年会議所では、主に広報交流、総務、研修などを今まで担当してきました。現在も副理事長という大役を仰せつかり活動中であります。

又、この度さがみはら市民会議の総務渉外委員長という大切な役割を、新入会員にもかかわらず担わせて頂き、大きな期待と不安でわくわくドキドキしているところであります。先月の初めての総会、先日の初めての理事会と、多くの先輩方に大変暖かい御指導を頂きながら日々試行錯誤しながら過ごしているところです。

本年度は、今までに培ってきた青年会議所活動を生かしながら、皆様の活動がよりスムーズに行えるよう適性・迅速な運営を心がけ、来年度以降の活動も視野に入れながら、なにより、さがみはら市民会議のメンバーの一人として精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ネットワーク委員長 鹿野 徹子



今年度のネットワーク委員会は鹿野（委員長）、早田（副委員長）、椎野、関口、滝口、益子でスタートしました（委員は随時募集中！）。年間計画の柱はトークサロン（全5回を予定）とサポセンフェスティバル、そして定例会を1回担当しております。これらの行事を通してさまざまな人とのネットワークを広げることがネットワーク委員会の役割です。一同、行事の準備に追われつつも、新しい人との出会いを期待してワクワクしております。もちろん、新しい顔ばかりでなく、古参（？）の会員の方の参加もお待ちしております。特に定例会は年に3回しかない貴重な意見の交換の場です。普段はさまざまな活動をしている会員同士が互いの経験を知ることで、市民会議としての新たな方向性が見えてくることもあるかと思われれます。どうか気軽にご参加ください、お待ちしております！

政策情報委員長 西本 敬



昨年までは情報委員長としてさぽせんナウの発行、メールマガジン、ホームページなどの情報発信全般を担当していましたが（もっとも大半はスタッフの皆さんがやっていました）、今年度からサポセンスタッフの仕事としてこれらがきちりと位置付けされ、情報面と政策提言活動を一緒

にして、この委員会がスタートしました。齋藤、寺崎両理事に加えて伊藤代表、菅澤、東條、野村とまことに多士済々。

この会報の発行、定例会は市民側委員で市の委員会に参加している方々の意見交換を考えており、他にサポートセンターをどう評価するか、パートナーシップ準備委員会にからんでの提言活動、相模経済新聞の「NPOタイムズ」欄を月1回企画制作しています。会員の皆さんタイムズへの記事ネタ、特ダネを寄せて下さい。

サポートセンター事務局長 関口良三



今年度、新たに事務局組織を導入し事務局長として理事に就任しました。昨年度はネットワーク委員会に所属し、多くのことを学びました。今は理事としてさがみはら市民会議が今以上に市民力となれるよう努力したいと思っています。

ます。

また、サポートセンターも市民の活動拠点として幅広く利用されるよう力を注ぐつもりですのでよろしくお願いいたします。

新任理事で～す



神田廣志 (総務渉外副委員長)

私は団塊の世代の生まれで56才です。5年前、心臓病で過労死するところ、なんとか生き延び、2年半前に30年以上勤務してい

た会社を早期退職しました。心臓病になってから、念願だった温泉巡りをしたいと思い、バイクの免許をとり、全国をツーリングしています。昨年はニュージーランドに行ってきました。会社に勤務していた時には、ボランティア活動や市民活動にはほとんど興味はありませんでしたが、1年前にさがみはら市民活動サポートセンターのスタッフとして採用されて始めて市民活動に目覚めました。

私はサポートセンターに出会って、非常に幸運だったと思います。今後、私のような団塊の世代が大量に退職する時代が、訪れようとしています。団塊の世代にはパワーがあります。このパワーを有効に活用するためにはどうすればいいのか、これが、私の現在の課題です。

会報への記事をお寄せ下さい。3ヶ月に1回発行する予定です。 政策情報委員会

齋藤 雅秀 (政策情報副委員長)



「パラボラ相模原」のサポーターとして「さがみはら市民活動サポートセンター」の会議室を利用してボランティア活動を行ってまいりました。

そのうち「さがみはら市民活動サポートセンター」のスタッフで働くようになり、昨年「さがみはら市民会議」に参加しました。この間、目だった活動もできず今日に至りました。

そこで今回理事という職責をおおせつかり戸惑っております。まずは、今年から始まった相模経済新聞の「NPO タイムズ」の編集に参加し、「さがみはら市民会議」の一員として活動したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

寺崎雄介 (政策情報副委員長)



皆さん、こんにちは。新しく理事に就任しました寺崎雄介です。(社)相模原青年会議所をメインに活動していましたが、多くの市民活動団体と触れ合う機会を持ちたく、昨年市民会議に入会しま

した。まだわからない事が多いですが、精一杯頑張っております。色々な価値観と触れ合うことは、私にとって人生の喜びです。ふるさと相模原に根付いて、かつ問題意識をもって社会に接している方々から、多くのことを吸収していきたいです。皆んなで良い街をつかっていきましょう！よろしくお願い申し上げます。

若ッカイ新入会員紹介

野村知秀



このほど、さがみはら市民会議の一員として活動させていただくことになりました野村知秀と申します。

さて、市民会議という団体に対する私の思いですが、市内の市民活動団体やNPOの先導役というイメージで入会させていただきました。入会を決めたのはある人が発したある言葉に感銘を受けたからです。

その方はこういいました。「日本のぶら下がり構造の社会を変える力は市民活動にある」と。(そのようなニュアンスで…)これから微力ながらそうした社会の実現に向け、皆さんと力を合わせながらそんな新しい社会の到来をお手伝いできればと考えています。これから多分にご迷惑をかけますがどうぞ、よろしくお願い致します。

おわり